



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 今井 惠一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	27,527	0.6	1,359	2.9	1,275	12.0	672	75.5
25年3月期第2四半期	27,353	△1.1	1,321	△17.9	1,138	△20.6	382	△56.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,023百万円 (5,380.6%) 25年3月期第2四半期 36百万円 (△92.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	8.84	—
25年3月期第2四半期	5.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第2四半期	90,489		35,970		38.9	
25年3月期	87,277		34,227		38.4	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 35,178百万円 25年3月期 33,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,300	1.7	2,520	△9.3	2,220	△10.4	1,300	17.5	17.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	76,088,737 株	25年3月期	76,088,737 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	56,958 株	25年3月期	55,679 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	76,031,961 株	25年3月期2Q	76,035,097 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした経済政策への期待感から、円安・株高を背景に緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、個人消費については本格的な回復には至っておらず、中国などにおける海外景気の減速感などの影響から先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経済情勢にあつて、物流業界では国内輸送や輸出入海上貨物の荷動きが改善した一方で、在庫圧縮による保管残高の減少や航空貨物の需要がまだ回復しないなどの下押し要因があるほか、不動産賃貸業界では都市部におけるオフィスビルの需給環境に改善の兆しがあるものの、賃料相場は緩やかに下落しており、厳しい事業環境が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは、当期を初年度とする4ヵ年の中期経営計画「Step Up 2016」を新たに策定し、事業戦略に沿った営業活動を積極的に展開いたしました。物流事業においては、消費財を中心とした物流一括受託業務や流通加工業務の拡販のほか、海外では拠点の拡大とともに新規営業活動に努めてまいりました。また、不動産事業においては、既存施設の計画的な保守および改良工事を実施し、現有資産の付加価値向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業における不動産賃貸収入はテナントの合理化策の影響を受け減少したものの、物流事業で船内荷役の取扱いが増加した港湾運送業務や、新規の流通加工業務が寄与した倉庫業務が伸長したほか、飲料の輸配送業務が好調に推移したことで、前年同期比1億7千4百万円

(0.6%)増の275億2千7百万円となりました。営業利益は、物流事業における再開発に伴う代替倉庫のコストが増加しましたが、前期の不動産取得に伴う費用が解消し、同3千7百万円(2.9%)増の13億5千9百万円となりました。経常利益は、支払利息や資金調達費用が減少し、同1億3千6百万円(12.0%)増の12億7千5百万円となりました。また、四半期純利益については、前期に比べ投資有価証券評価損が減少したことから、同2億8千9百万円(75.5%)増の6億7千2百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、日用品の取扱いが増加したほか、流通加工業務が好調に推移したことにより、営業収益は前年同期比8千9百万円(1.9%)増の47億6千8百万円となりました。

港湾運送業務は、消費財を中心とした輸入貨物の取扱いが好調に推移したうえに、在来船貨物の船内荷役の取扱いが伸長したため、営業収益は前年同期比1億7千万円(6.2%)増の28億9千8百万円となりました。

陸上運送業務は、引越業務の取扱いは前年同期に比べ減少したものの、日用品や飲料の輸配送業務が伸長したことにより、営業収益は前年同期比2億8千9百万円(2.1%)増の142億5千4百万円となりました。

国際輸送業務は、海上輸送の取扱いは輸出入貨物ともに堅調に推移したものの、航空貨物の取扱いが減少し、営業収益は前年同期比5千9百万円(3.2%)減の18億2千5百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比4億9千3百万円(2.1%)増の244億7千1百万円となりました。営業費用は、取扱増に伴う作業費および横浜・茨木地区の再開発に伴う借庫費が増加したことなどにより、前年同期比5億4千9百万円(2.4%)増の237億8千7百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比5千6百万円(7.7%)減の6億8千3百万円となりました。

② 不動産事業

一部施設の稼働率低下により不動産賃貸収入が減少したほか、付随するビルメンテナンスに関する業務も減少したことにより、営業収益は前年同期比3億2千3百万円(9.4%)減の31億1千4百万円となりました。営業費用は、前期に取得した賃借不動産の賃借料および取得に伴う費用が解消し、前年同期比4億3百万円(19.6%)減の16億5千3百万円となりました。以上により、営業利益は前年同期比7千9百万円(5.8%)増の14億6千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、再開発計画の設備投資に伴う固定資産の増加や、投資有価証券の時価評価による増加等により、前連結会計年度末に比べ32億1千1百万円増加し、904億8千9百万円となりました。

負債については、借入金の約定返済が進んだものの、設備関係支払手形等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ14億6千8百万円増加し、545億1千9百万円となりました。

また、純資産については、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上およびその他有価証券評価差額金等の増加により、前連結会計年度末に比べ17億4千3百万円増加し、359億7千万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント増加し、38.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローおよび財務活動によるキャッシュ・フローの減少がありましたが、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、全体で3億9千2百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、71億8千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、利息および法人税等の支払いがあったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により22億1千8百万円の増加(前年同四半期比1億9千8百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があったため、8億8百万円の減少(前年同四半期比56億5百万円の増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済や配当金の支払いがあったため、10億3千8百万円の減少(前年同四半期比32億6百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期の連結業績は概ね期初予想に沿ったところで推移しておりますので、平成25年8月7日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,348	5,943
受取手形及び取引先未収金	9,558	9,451
有価証券	3,005	3,005
その他	2,337	2,308
貸倒引当金	△15	△12
流動資産合計	20,235	20,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,184	30,538
土地	22,566	22,560
その他(純額)	1,386	2,930
有形固定資産合計	55,138	56,029
無形固定資産		
投資その他の資産	802	792
投資有価証券	9,450	11,246
その他	1,720	1,728
貸倒引当金	△70	△49
投資その他の資産合計	11,099	12,925
固定資産合計	67,040	69,746
繰延資産	2	45
資産合計	87,277	90,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,239	4,144
1年内償還予定の社債	7,000	—
短期借入金	5,966	5,015
未払法人税等	192	488
引当金	553	533
その他	2,305	3,712
流動負債合計	20,257	13,894
固定負債		
社債	—	7,000
長期借入金	24,913	25,175
長期預り金	5,080	5,031
退職給付引当金	2,169	2,253
その他	628	1,164
固定負債合計	32,792	40,624
負債合計	53,050	54,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	18,587	18,993
自己株式	△20	△20
株主資本合計	32,077	32,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	3,076
為替換算調整勘定	△563	△382
その他の包括利益累計額合計	1,409	2,694
少数株主持分	739	792
純資産合計	34,227	35,970
負債純資産合計	87,277	90,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	2,540	2,494
倉庫荷役料	2,138	2,273
荷捌料	4,825	4,923
陸上運送料	13,960	14,250
物流施設賃貸料	416	429
不動産賃貸料	3,379	3,059
その他	93	96
営業収益合計	27,353	27,527
営業原価		
作業費	17,646	17,974
賃借料	1,171	1,085
人件費	1,551	1,577
減価償却費	1,189	1,169
その他	2,922	2,819
営業原価合計	24,481	24,627
営業総利益	2,871	2,900
販売費及び一般管理費	1,550	1,541
営業利益	1,321	1,359
営業外収益		
受取利息	10	18
受取配当金	116	129
その他	75	78
営業外収益合計	203	226
営業外費用		
支払利息	274	246
その他	111	63
営業外費用合計	385	309
経常利益	1,138	1,275
特別損失		
固定資産処分損	—	127
投資有価証券評価損	426	—
特別損失合計	426	127
税金等調整前四半期純利益	712	1,148
法人税等	316	462
少数株主損益調整前四半期純利益	395	685
少数株主利益	12	13
四半期純利益	382	672

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395	685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△390	1,114
為替換算調整勘定	31	223
その他の包括利益合計	△358	1,337
四半期包括利益	36	2,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21	1,957
少数株主に係る四半期包括利益	15	65

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	712	1,148
減価償却費	1,259	1,223
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33	83
受取利息及び受取配当金	△127	△148
支払利息	274	246
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4
投資有価証券評価損益(△は益)	426	15
固定資産売却損益(△は益)	△6	△4
固定資産除却損	22	14
売上債権の増減額(△は増加)	△477	114
仕入債務の増減額(△は減少)	△198	△100
その他	153	△55
小計	2,032	2,510
利息及び配当金の受取額	123	144
利息の支払額	△278	△268
法人税等の支払額	△77	△168
法人税等の還付額	221	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,020	2,218
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△651	△819
定期預金の払戻による収入	668	810
有形固定資産の取得による支出	△6,330	△634
有形固定資産の売却による収入	50	10
無形固定資産の取得による支出	△105	△28
投資有価証券の取得による支出	△10	△109
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	17
貸付けによる支出	△44	△44
貸付金の回収による収入	8	8
その他	0	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,414	△808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5	8
長期借入れによる収入	4,214	1,382
長期借入金の返済による支出	△1,760	△2,079
社債の発行による収入	—	6,947
社債の償還による支出	—	△7,000
配当金の支払額	△265	△265
少数株主への配当金の支払額	△2	△12
リース債務の返済による支出	△23	△18
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,167	△1,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,223	392
現金及び現金同等物の期首残高	8,547	6,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,323	7,189

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	23,974	3,379	27,353	—	27,353
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4	58	63	(63)	—
計	23,978	3,438	27,416	(63)	27,353
セグメント利益	740	1,380	2,121	(799)	1,321

(注1) セグメント利益の調整額△799百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、賃貸用不動産物件を取得したことに伴い、不動産事業のセグメント資産が5,201百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	物流事業	不動産事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	24,467	3,059	27,527	—	27,527
セグメント間の内部営業収益又は振替高	3	55	58	(58)	—
計	24,471	3,114	27,586	(58)	27,527
セグメント利益	683	1,460	2,144	(785)	1,359

(注1) セグメント利益の調整額△785百万円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない親会社本社の管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。